日にち：令和４年１０月２１日（金）
時　間：１３：００～
場　所：庁議室

令和４年度

第２回 佐賀市DX推進本部会議

関　治之

Code for Japan　Civic Hacker/Founder

デジタル庁　オープンガバメントチーム

自治体のデジタル関連アドバイザー
・東京都、山口県、香川県、三重県
・佐賀市、神戸市、浜松市、枚方市、西粟倉村

その他経営
・Georepublic Japan（システム開発）
・株式会社HackCamp（オープンイノベーション支援）

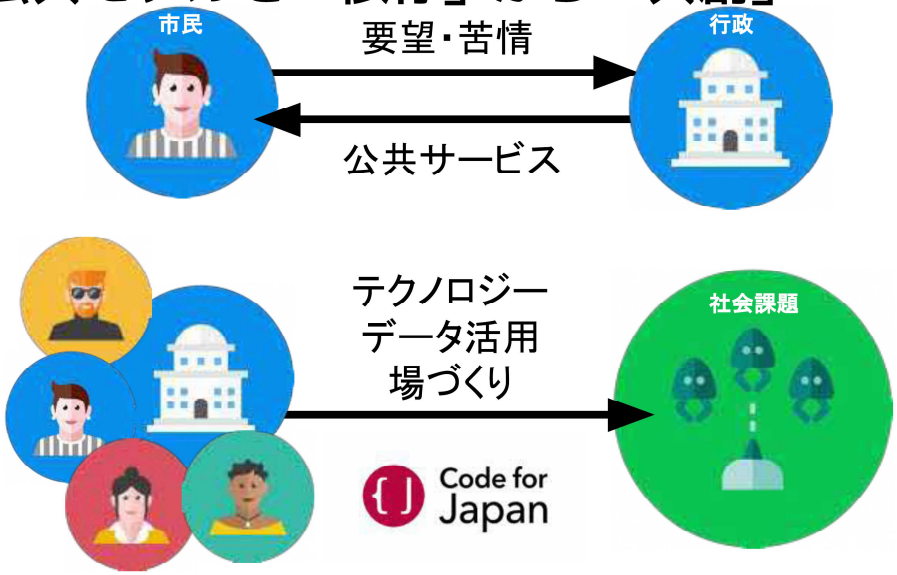
hal_sk

解説文を寄稿
しています

ともに考え、ともにつくる社会

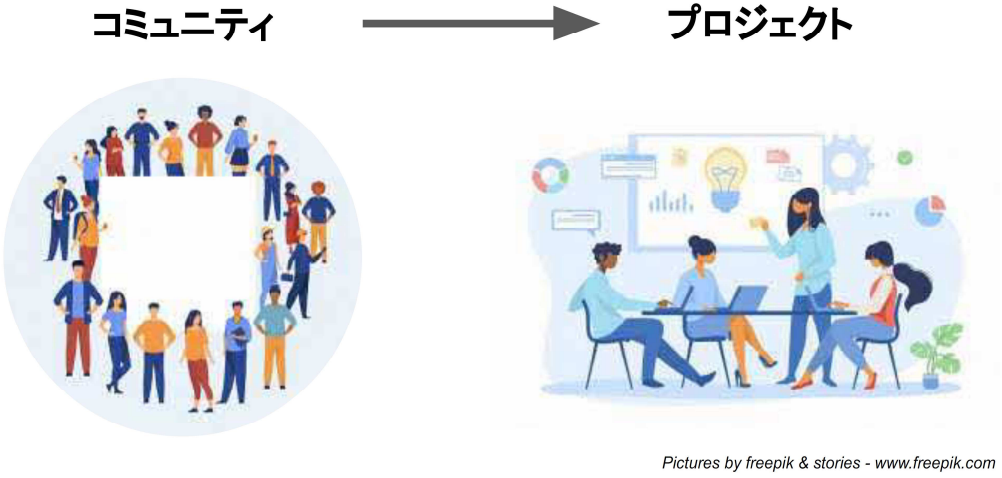
シビックテックアプローチ

公共モデルを「依存」から「共創」へ



シビックテック・エコシステム

オープンにつながり、
社会をアップデートする



Pictures by freepik & stories - www.freepik.com

佐賀市
スマートシティ宣言！

スマート・ローカル！ SAGACITY

スマートシティ実現のための重点分野と重点取組

デジタルが充実している
田舎に住むこと

いま、いちばん“かしこい”
住スタイル

英単語の“sagacity”には、“聡明・かしこい”の意味があります。

市民サービスDX

◎パソコン・スマホで
オンライン申請

◎佐賀市総合ポータルサイト・
アプリ構築

防災DX

◎災害・防災情報の
デジタル化

◎ドローン・スマホ
を活用した災害
復旧

子育て・教育DX

◎子育て情報・教育現場の
デジタル化・オンライン化

◎位置情報システム等を活用
した見守り

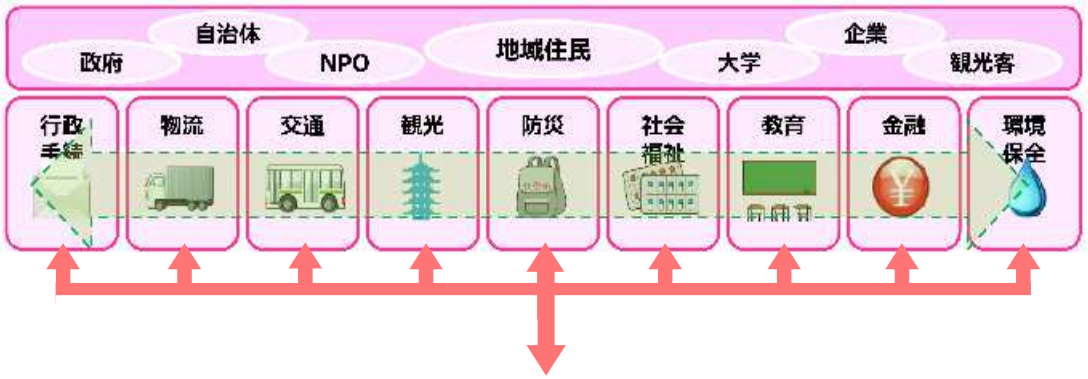
産業DX

◎ICTを活用した経済DX

◎AI・IoT等を活
用したスマート
農林水産業

スマートの構成要件と佐賀市の取り組み

デジタルサービス



◎自治体DX・地域DX

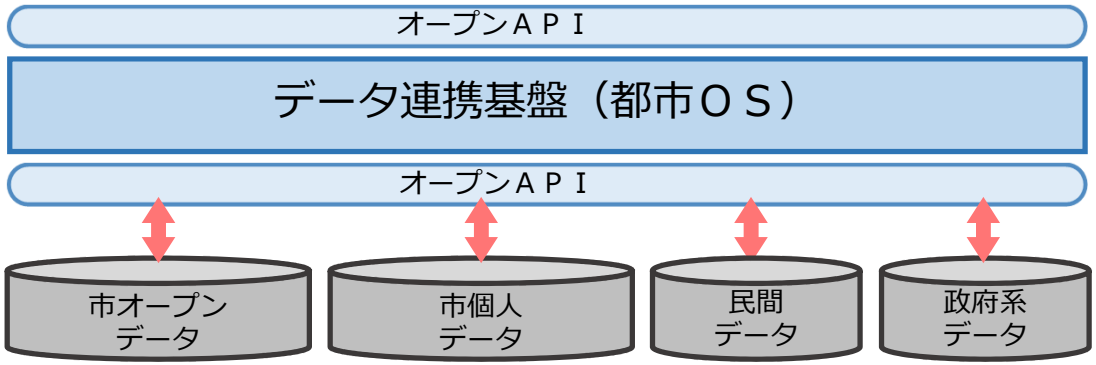
① 住民票等コンビニ交付、事業所テレワーク支援等

✚

◎市民サービスDX

② 佐賀市総合ポータル（スーパーアプリ）等

データ連携基盤



◎データ連携基盤（都市OS)の構築

① 先行実施の「スマート街なか」との連携

② 介護予防DXのビッグデータ利活用

自治体データ･オープンデータ･カメラ･センサー等ビッグデータの利活用 ⇒ EBPMの推進

ＤＸ人材育成

・行政、企業、大学等の研究教育機関及び市民など多様な主体が参画する推進体制の構築

・デジタルを活用した地域課題の解決

◎デジタル・DX人材の育成

① AI-OCR、議事録作成システム等の研修

② 各課に１名のDX推進員を配置

✚

◎市スマートシティ推進協議会（仮）の設置

デジタルサービスの取り組み①佐賀駅バスセンターデジタルサイネージ構築事業

【リニューアル前】

＜課題＞

- バス会社毎の乗り場でわかりにくい
- 案内がわかりにくい

【リニューアル後】R4.10.1～

＜改善＞

- 行先方面別のわかりやすい乗り場に！
- サイネージで直近の発車時刻（遅延や緊急情報）を表示！

ポイント

◎各バス会社のダイヤの調整
◎オープンデータ（各社のダイヤ・車載器の位置データ）を活用
◎データのタイムラグを調整

<u>はじめて佐賀駅バスセンターを利用する人でも迷うことなくバスを利用できる！</u>

「夏のDigi田甲子園」の「国民の皆様によるインターネット投票」の結果

第８位　ＳＡＧＡスマート街なかプロジェクト　【実装部門（指定都市・中核市・施行時特例市等）】

【第１回DX推進本部会議（7/26）以降の取り組み】

ワークショップ		
第４回	7/30	街なかの今と昔を比べてみよう！
第５回	8/20	ミライの街なかを創ろう！（こども向けWS）
第６回	8/27	イベント×デジタルサイネージを考えよう！
第７回	9/17	センサーデータ活用で楽しく便利に！
第８回	10/22	ウィキペディアで街なかの記事を書こう！
今後	第９回（11/19）、第10回（12/17）予定	

デジタルツールへの活用	
デジタルサイネージ（４月設置）	８月　栄の国まつりバージョン １１月　バルーンフェスタバージョン
データビュアライズ（ダッシュボード）	ワークショップ等のアイデアを活用し、今後、取得データを分析・活用

デジタルサービスの取り組み③佐賀市DX推進支援モデル事業（地域DX）

DXに取り組みたい企業

社内DX推進
マインドの醸成
DX計画の策定
など

支援コンサル企業

＝

**企業の
社内DX推進！**

参加企業

田島株式会社
×
福博印刷株式会社

有限会社旅館あけぼの
×
株式会社佐賀IDC

本村製菓株式会社
×
NTTﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ株式会社

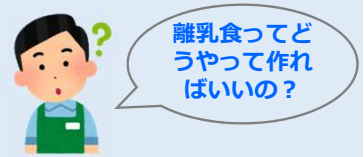
➢企業のモデル事業を創出し、他企業へ波及

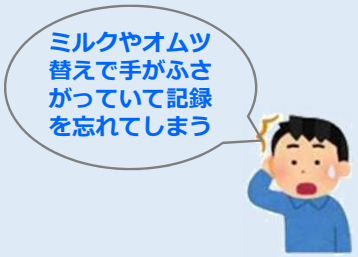
令和４年８月実施

家事・育児における

▶音声アシスタントの活用実験

困りごと
・悩みごと





佐賀市

×

Amazon Echo Show5
（第2世代）

解決！楽しい
×簡単！

今ある材料でつくれる離乳食のレシピを読み上げ！

音声入力でアプリに記録！

令和５年１月開始予定

▶LINEによる子育て情報発信

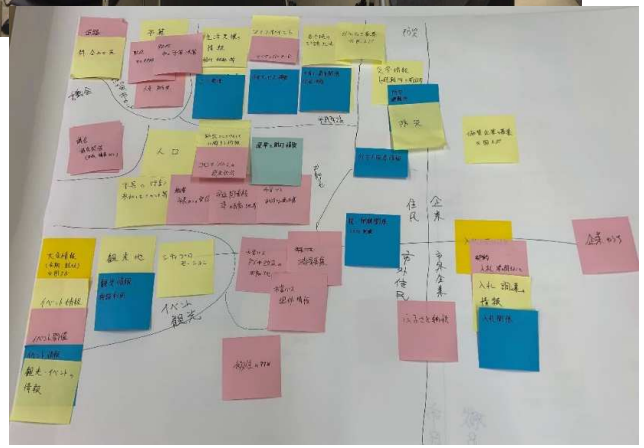
子育て情報が必要な対象者に向けてプッシュ通知

子どもの成長に合わせた
情報を配信

ワーキンググループによるデジタルサービス創出の検討

- 9/26～10/19の間で、各分野全３～４回（1.5H/1回）開催
- 課題の整理 → 業務のデジタル化・整理 → 事例紹介 → 事業化等の検討

分野	テーマ	デジタルサービス事業等（案）
窓口DX	窓口業務のオンライン化・書かない窓口の実現	・オンラインサービスシステム導入 ・デジタル化、業務フローの整理
広報DX	佐賀市の情報発信力強化	・スーパーアプリの活用 ・市民等受け手のデジタル活用の支援
防災DX	災害情報共有	・情報収集の自動化、分析システム ・リアルタイム情報共有システム
子育て・教育DX	業務効率化のデジタルツール活用	・先生と保護者のコミュニティツール導入 ・こどもの安全を守るシステム導入



若手職員・各課担当者等の分野を横断したメンバーによる「デジタルサービス創出の検討」

担当課へ事業提案し、各分野における「令和５年度デジタルサービス創出事業」の検討材料とする

佐賀大学生の地域活性化アイデアワークショップ

日時 2022年 9月29日(木)～30日(金)<2日間>
- ■ DAY1 9/29 10:00-18:00
- ■ DAY2 9/30 9:00-18:00

対象 佐賀大学生 1 年 ～ 3 年生

定員 30 名

会場 佐賀大学 総合研究1号館 演習室2

主催 佐賀大学芸術地域デザイン学部

協力 佐賀市、株式会社マイナビ、日本マイクロソフト株式会社

ワークショップ DAY 1

<午前>
- ●佐賀市によるオリエンテーション
- ●目標設定オリエンテーション
- ●課題解決のためのアイデア発想プログラム体験

<午後>
- ●日本マイクロソフト宮崎氏による スマートシティの解説
- ●地域活性アイデアワークショップ

ワークショップ DAY 2

- ●地域活性アイデアワークショップ
- ●プレゼンテーション
- ●結果発表、表彰式

【佐大生によるICTを活用したまちづくりのアイデア】
- ● 駐輪場の精算機のキャッシュレス化・データ利活用
- ● スーパーアプリ等を活用した観光情報等の発信

⇒

行政、市民、企業、地域が一緒になって、地域の課題やまちづくりを協議し、デジタルサービスの実装を目指す
⇒ 佐賀市スマートシティ推進協議会（仮）を設置予定

佐賀市スーパーアプリの構築

１つのアプリの中に、行政情報の利用や手続きができる複数のアプリを統合

■いつでも　■どこでも

■欲しい情報が手に入る　■手続きができる

【R4年度】アプリの基盤構築、一部機能実装

・プッシュ配信、施設予約、行政手続き（マイナポータル連携）、ごみカレンダー、地域情報・気象情報配信など

◎今後のスケジュール

１０月末　プロポによる業者選定

１１月～　契約、構築

R5.３月末　リリース（第１期）

ポイント

◎１回のログインで、手間なく便利！　◎探したい情報がすぐに見つかる！

◎自分に必要な情報のみがプッシュ配信で届くため、大事な情報を見逃さず、タイムリーに情報を入手できる！

佐賀市スーパーアプリの構築におけるポイント

重点取組

- 市民サービスDX
- 防災DX
- 子育て・教育DX
- 産業DX

デジタルツール

佐賀市スーパーアプリ

さがんメール

Civictech（シビックテック）

デジタルツール、コミュニティツールを活用した行政、市民、企業、地域等の連携

→地域や行政課題の抽出し、改善に向けた取り組み

データベース

- ホームページ
- システム台帳
- 各システム
- オープンデータ
- マイナポータル
- 他のアプリ等

Govtech（ガブテック）

- ・データ整理
- ・業務フロー整理
- ・法律等整理
- ・庁内ルール、文書規程
- ・セキュリティ強化
- ・デジタル、DXの知識

【具体事例】（課　題）遊具がある公園を探したい → ネット検索でヒットしない

（改善策）データはあるが調査内容が不完全 → 調査方法・項目、データ台帳の整理・更新

佐賀市DX推進の取り組み方針のまとめ

1　部局横断的な協議・取り組み

・若手職員、各課担当者等による部局を跨るWG

・スーパーアプリの構築に当たり、各部局間の連携

2　デジタルサービス創出に伴うデータ整理・業務整理

・スーパーアプリ等デジタルツールを活用したデジタルサービスの創出

・デジタルツール活用 → データベース整理 → 業務フローの整理

・データ利活用によるEBPMの推進

3　行政、市民、企業、地域が一体となった取り組み

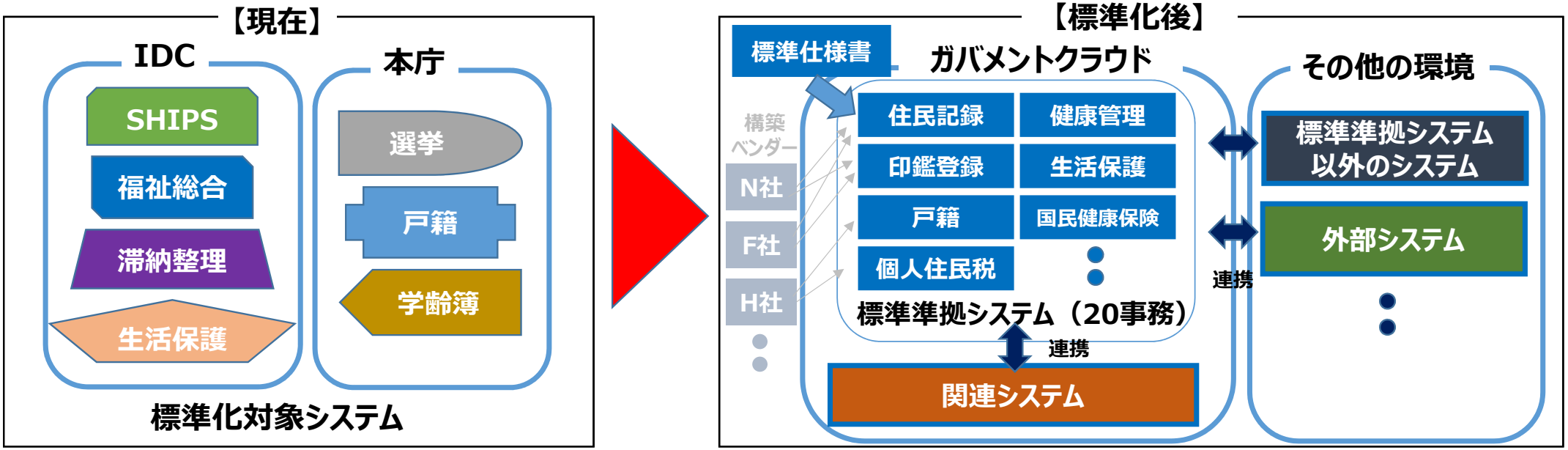
・デジタルツールを活用し、地域や行政課題の抽出・改善に向けた取り組み

・佐賀市スマートシティ推進協議会（仮）の設立に向けた準備

・ガブテック・シビックテックの両輪でのDX推進

基幹系情報システムの統一・標準化とは

令和7年度までに、SHIPSをはじめ基幹系情報システムのうち、標準化対象事務の処理にかかる情報システム（標準化対象システム）を、ガバメントクラウド上に構築された標準準拠システムに移行する。



【用語の説明】

- ■基幹系情報システム ・・・ 基幹系（マイナンバー利用事務系）ネットワーク上に構築している情報システム
- ■標準化対象事務 ・・・ 標準化の対象となっている住記、税、福祉等の20事務
- ■標準化対象システム ・・・ 標準化対象事務の処理にかかる情報システム
- ■標準準拠システム ・・・ 標準化基準（標準仕様書）に適合する情報システム
- ■ガバメントクラウド ・・・ サーバー等のインフラ機能をネットワーク経由で提供するサービス（国が構築）

基幹系情報システムの統一・標準化の目標

◆コスト削減・ベンダロックインの回避

- 移行完了後は、標準準拠システムの運用経費等を平成30年度比で３割削減することを目指す。
- システム事業者及びクラウド提供業者を選択可能にすることで、競争環境を確保する。

◆職員負担の軽減

- ガバメントクラウドを利用することで、サーバ等のハードウェアやOS・ミドルウェア・アプリケーション等のソフトウェアを自治体が整備・管理する負担を軽減する。
- 制度改正等が実施される場合に、国が標準仕様書を策定・変更することで、自治体が個別に対応する負担を軽減する。

◆住民の利便性向上

- 軽減された人的・財政的なリソースを、住民の利便性向上につながる業務に注力できるようにする。
- 突発的な行政需要に対して、緊急的な対応を可能とする（例　特別定額給付金の迅速な給付）。

標準化対象事務と標準化対象システム

標準化対象事務（２０事務）

住民記録　印鑑登録　戸籍　戸籍附票　就学　選挙人名簿管理　固定資産税　個人住民税　法人住民税　軽自動車税
介護保険　障害者福祉　国民年金　後期高齢者医療　生活保護　健康管理　国民健康保険 児童手当　児童扶養手当
子ども・子育て支援

標準化対象システム	標準化対象事務
SHIPS	住民記録、印鑑登録、選挙人名簿管理、固定資産税、個人市民税、法人市民税、軽自動車税、国民健康保険、国民年金、児童手当、子ども・子育て支援
保健福祉総合システム	障害者福祉、健康管理、児童扶養手当
滞納整理支援システム	※税標準仕様に含む
戸籍システム	戸籍、戸籍附票
学齢簿システム	就学
生活保護システム	生活保護
不在者投票システム	選挙人名簿管理
国保システム（SHIPS）※	国民健康保険

※　国民健康保険は、県内市町において同一の標準システム導入や共同運用について協議中であるため、SHIPSとは別に方針を検討する。
※　介護保険は佐賀中部広域連合にて標準化対応を行う。

標準化のポイント

◆ 全ての自治体が、令和7年度までにガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへの移行を目指す

- 短期間に全自治体のシステム移行が実施されるため、システム移行に必要なSEが不足することが懸念されている。

◆ 標準準拠システムのカスタマイズは原則不可

- 事務のやり方を標準準拠システムに合わせなければいけない。

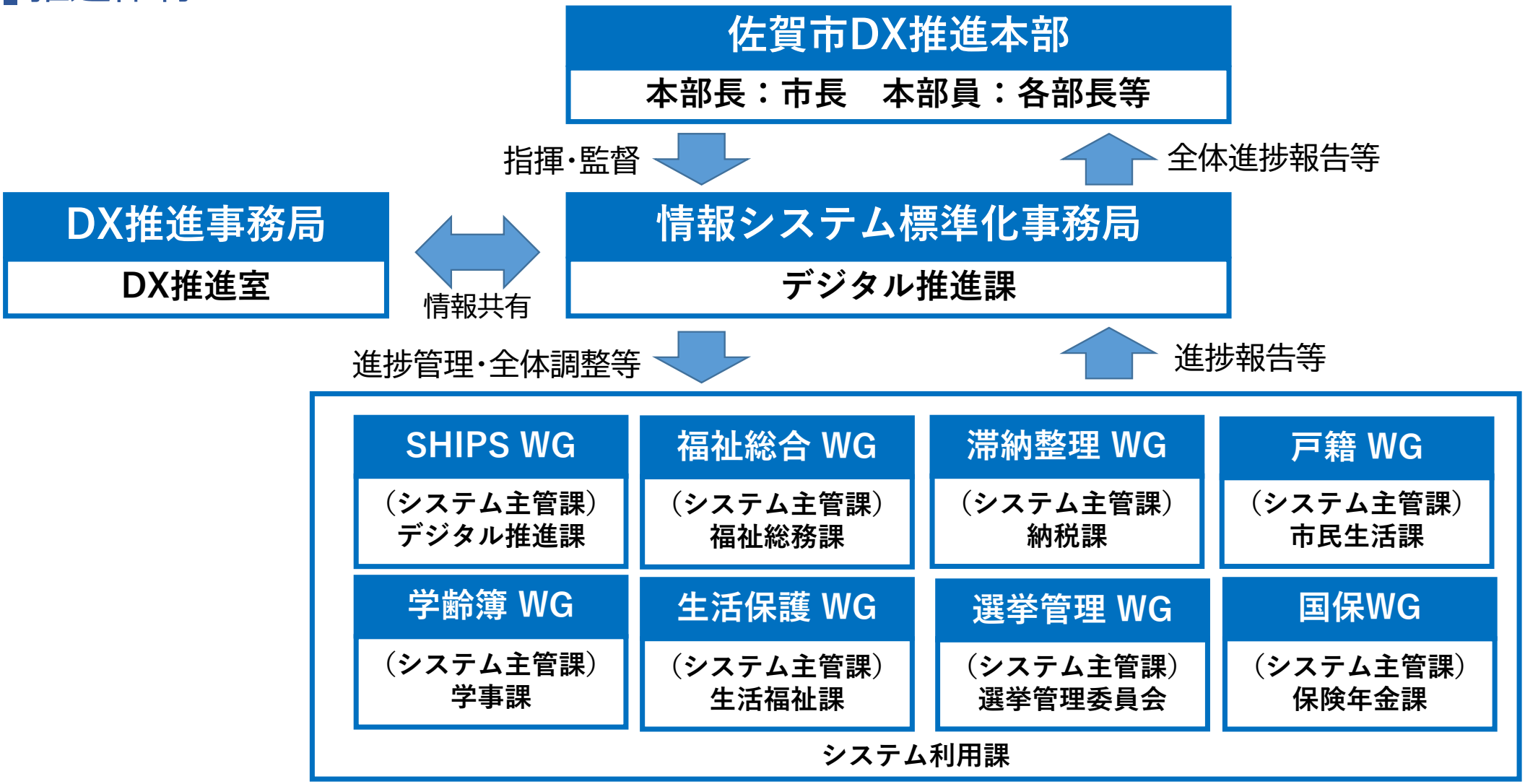
◆ SHIPSは佐賀市が独自に開発したシステム（ベンダーが開発したパッケージではない）

- SHIPSは佐賀市が独自に開発して著作権を保有するシステムで、開発を委託したサムスンSDSは、現在システムの改修等には携わっておらず、SHIPSを標準仕様書にあわせて改修することはできず、新たなシステムを選定することが必要。

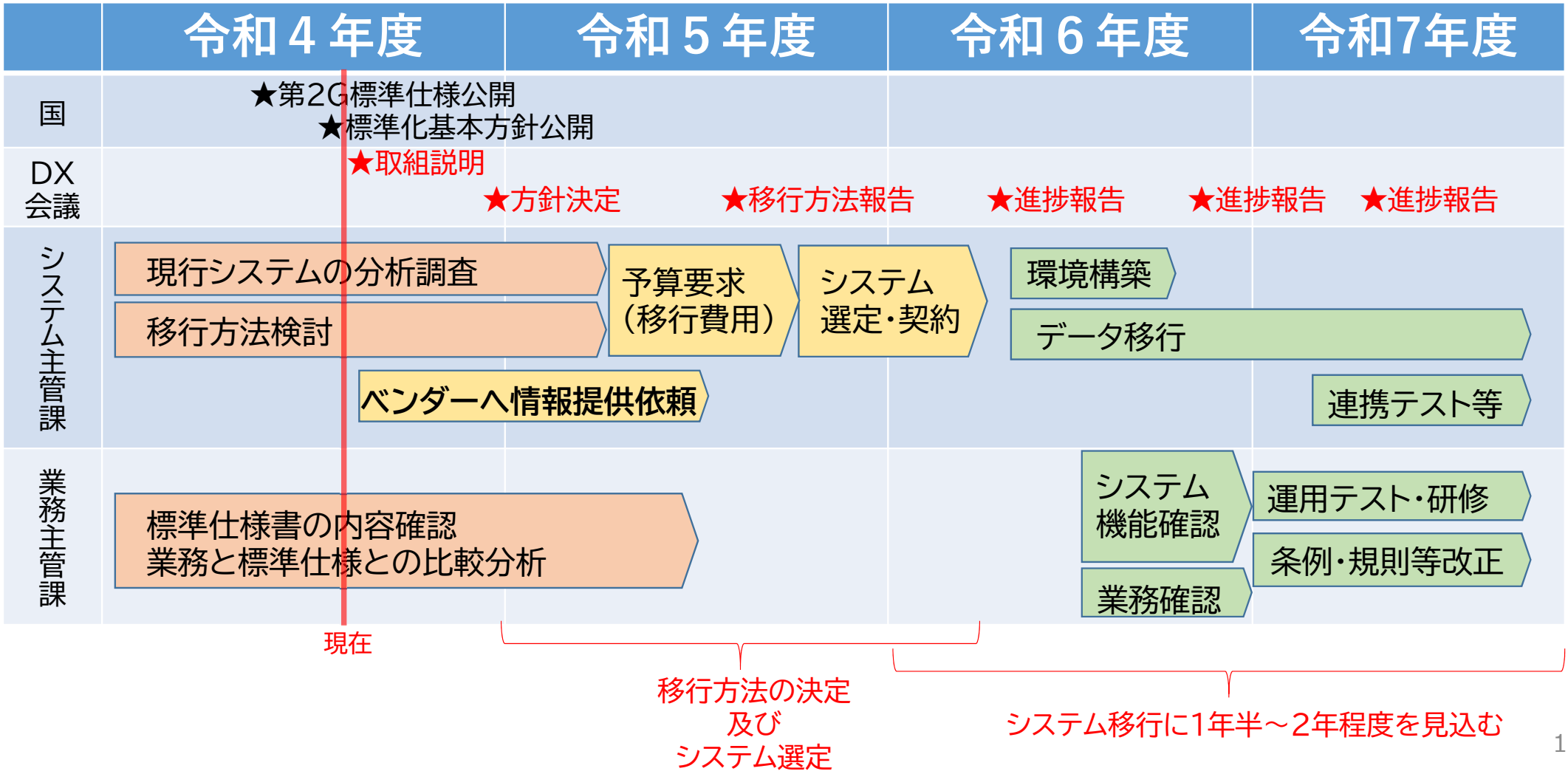
◆ 標準化対象事務以外の事務を処理するシステムは、標準準拠システムと疎結合で構築

- 標準化対象システムで標準化対象外事務を処理している場合は、その処理を別システムで調達する等の対応が必要。ただし、経過措置としてパッケージとして提供されているものは標準準拠システムと一体的にガバメントクラウド上に構築できる。

推進体制


佐賀市DX推進本部
本部長：市長　本部員：各部長等
指揮・監督
全体進捗報告等
DX推進事務局
DX推進室
情報共有
情報システム標準化事務局
デジタル推進課
進捗管理・全体調整等
進捗報告等
SHIPS WG
（システム主管課）
デジタル推進課
福祉総合 WG
（システム主管課）
福祉総務課
滞納整理 WG
（システム主管課）
納税課
戸籍 WG
（システム主管課）
市民生活課
学齢簿 WG
（システム主管課）
学事課
生活保護 WG
（システム主管課）
生活福祉課
選挙管理 WG
（システム主管課）
選挙管理委員会
国保WG
（システム主管課）
保険年金課
システム利用課

今後のスケジュール


令和４年度
令和５年度
令和６年度
令和7年度
国
★第2G標準仕様公開
★標準化基本方針公開
DX会議
★取組説明
★方針決定
★移行方法報告
★進捗報告
★進捗報告
★進捗報告
システム主管課
現行システムの分析調査
移行方法検討
予算要求（移行費用）
システム選定・契約
環境構築
データ移行
ベンダーへ情報提供依頼
連携テスト等
業務主管課
標準仕様書の内容確認
業務と標準仕様との比較分析
システム機能確認
運用テスト・研修
条例・規則等改正
業務確認
現在
移行方法の決定及びシステム選定
システム移行に1年半～2年程度を見込む

DX推進本部で決定すべき事項

令和４年度末を目標に、本市としての標準化対応方針を決定する

【標準化対応方針で定める主な事項】

■ **移行方式の考え方**
- ベンダ切替により新たなシステムを選定するのか、現行システムのバージョンアップで対応するのか等

■ **カスタマイズに対する考え方**
- カスタマイズは原則不可
- カスタマイズを行う場合の手順等の整理等

■ **標準化対象システムへの移行対象とならないシステムの取扱**
- ガバメントクラウドに構築するのか、その他の環境に構築するのか等

今後の取組

令和４年度末を目標に、本市としての標準化対応方針を決定する

■ 事務局としての今後の取組

◆標準化対象システム（8システム）は、提供しているベンダーや提供方式等が異なるため、各ベンダーの標準化対応方針や開発状況を調査する。

◆国が策定した標準化基本方針や手順書等に基づき、安全かつ効率的に移行できる方法を検討する。

各ワーキンググループの意見を聞きながら、移行方法やカスタマイズの取扱等を定めた標準化対応方針（案）を作成する

今後のスケジュール

	年度	令和4年度	令和5年度
1	スマートシティ構想・推進	スマートシティ実現に向けた『**スタートアップ期**』 R4.7.26 ☆「佐賀市スマートシティ」宣言	スマートシティ推進『**本格実施**』 **R5年度** **☆ デジタル田園都市国家構想交付金申請**
2	取組の3本柱 ①デジタルサービス創出	各種ワーキンググループ（デジタルサービスの検討） ☆ 6月 デジタルサービス創出WG設置	デジタルサービス実装・創出 ・各部横断的な取組
	取組の3本柱 ②都市OS構築	都市OS実装準備・データ整理	都市OS実装 ・データ利活用・EBPM・オープンデータ化
	取組の3本柱 ③DX人材育成	各課DX推進員へのDX研修 専門家を講師とした研修会実施（年３回）	DX人材育成の強化 ・佐賀市スマートシティ推進協議会（仮）設置
3	佐賀市DX推進本部会議	☆ 第1回 7月 **デジタルサービスの整理・重点取組等まとめ** ☆ 第2回 10月 **DX推進の取り組み（進捗報告）**	☆ 第3回 3月 **R5年度の取り組み方針（案）**